

事業名 事業主体及び提案者	17 市内の自転車シェアリング推進のための調査研究・試験運用事業 特定非営利活動法人 かながわ環境教育研究会 代表 渡辺敦																		
事業内容 (詳細は別添資料 企画書概要、再提案概要のとおり)	<p>「どういう問題を解決しようとしているか」</p> <p>Step1：調査研究事業 国内外の先進事例を調査し、大和市の現状に即した自転車利用のあり方を市民・事業者が協力し構築する事業。明らかにしたい事業の仮説の一点目は、千葉県市川市で「青少年地域ネット21」が行っている方式。(市の廃棄自転車を活用し、市内40箇所に約500台の自転車を設置し、無償で貸し出す。運営費は、自転車後輪に取り付けた広告収入で賄う。)</p> <p>仮説の二点目は、山口県下関市で行っている「エネルギー自立式電動アシスト自転車導入モデル事業」で、公務や通勤に電動アシスト自転車を活用することで、自動車利用を減らすことで、温暖化ガスの発生抑制を図る方式。</p> <p>これら二つの仮説の調査研究を行い、市内での関係団体との協議を行い、大和市で実現可能なプランを策定し平成16年度事業の事業提案を作成、提案する。</p> <p>Step2：上記事業提案の実施。</p>																		
協働の内容	<p>「具体的な協働の項目」</p> <p>協働する各セクターの役割</p> <table border="1" data-bbox="459 779 1385 1160"> <tr> <td data-bbox="459 779 683 884">市民活動団体の役割</td> <td colspan="3" data-bbox="683 779 1385 884">先進事例の調査研究、市内関連部門との調整、事業提案書の作成、市民・事業者の協力募集、事業の遂行。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="459 884 683 920">市民・事業者</td> <td colspan="3" data-bbox="683 884 1385 920">共用自転車ステーション設置場所の協力、放置自転車回収の協力。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="459 920 683 1160">行政の役割</td> <td colspan="3" data-bbox="683 920 1385 1160">調査研究活動の支援。 調査に関わる行政関連部門、事業者等との調整。 市施設(庁舎、学校等)の提供。 (共用自転車ステーションの設置、電動自転車充電場所他) 広報活動の支援。 事業実施に関わる行政関連部門、事業者等との調整。 H16年度以降の事業計画提案と予算の確保。</td> </tr> </table>			市民活動団体の役割	先進事例の調査研究、市内関連部門との調整、事業提案書の作成、市民・事業者の協力募集、事業の遂行。			市民・事業者	共用自転車ステーション設置場所の協力、放置自転車回収の協力。			行政の役割	調査研究活動の支援。 調査に関わる行政関連部門、事業者等との調整。 市施設(庁舎、学校等)の提供。 (共用自転車ステーションの設置、電動自転車充電場所他) 広報活動の支援。 事業実施に関わる行政関連部門、事業者等との調整。 H16年度以降の事業計画提案と予算の確保。						
市民活動団体の役割	先進事例の調査研究、市内関連部門との調整、事業提案書の作成、市民・事業者の協力募集、事業の遂行。																		
市民・事業者	共用自転車ステーション設置場所の協力、放置自転車回収の協力。																		
行政の役割	調査研究活動の支援。 調査に関わる行政関連部門、事業者等との調整。 市施設(庁舎、学校等)の提供。 (共用自転車ステーションの設置、電動自転車充電場所他) 広報活動の支援。 事業実施に関わる行政関連部門、事業者等との調整。 H16年度以降の事業計画提案と予算の確保。																		
審査内容 (評価結果)	<table border="1" data-bbox="491 1171 1348 1406"> <tr> <td></td> <td>実現性が高い</td> <td>熟度を高める必要がある</td> <td>実現することが難しい</td> </tr> <tr> <td>提案者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>行政所管課</td> <td></td> <td>環境総務課 交通安全対策課</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当推進委員</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				実現性が高い	熟度を高める必要がある	実現することが難しい	提案者				行政所管課		環境総務課 交通安全対策課		担当推進委員			
	実現性が高い	熟度を高める必要がある	実現することが難しい																
提案者																			
行政所管課		環境総務課 交通安全対策課																	
担当推進委員																			
コメント (公開審査時)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティサイクルについて、市川市のモデルをそのまま導入するのではなくレンタサイクル等の方法についても検討してはどうか。(行政) ・推進会議の委員、提案者の立場をわきまえ、協働の精神に基づいて一つひとつのことをすすめてもらいたい。後からの報告、承知では大変困る。 ・市内の調査、他市のデータが少ないのでさらに熟度を上げてもらいたい。(推進委員) ・行政としては放置自転車問題は非常に解決が望まれる問題なので、その点ではともに調査を進めたい。(行政) ・すぐに協働事業としてスタートできなくても、市民と一緒に考え、調査しプランをつくることを第一の目的としたい。そこで協働の可能性が見えれば、実施に向けて努力したい。(提案者) 																		
公開審査後の経過																			
協働推進会議の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化など環境に対する貢献ができる事業としての必要性はわかるので、今後調査研究の過程において熟度を高めていく事業であると思われる。 																		
具体的に検討を要請する事項	<p>協働事業としては当面困難であるが、今後協働事業として熟度を高めるために次の点について検討いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政から提案者側に期待すること。 ・行政側として対応可能な事項。 																		